

酒井茂の県政だより

発行責任者:酒井 茂 〒399-4432 伊那市東春近原新田8243 TEL/FAX.0265-73-5606

令和3年中の議会活動と11の成果

議会の一般質問(提案)により充実・改善した施策

2月 ■高校改革・高校再編

Q酒井: 高校改革・高校再編に対する県民の疑問について、地域に分かりやすく説明すべきでは?

A教育長: 少子化の傾向、少人数学級編成の考え方、少子化による学習への影響などについて、具体的に分かりやすく説明する。

成果1 → 県教委は丁寧に分かりやすく説明する方針を明らかにしました。

■県立大学・県看護大学の卒業後の県内就職

Q酒井: 両大学とも卒業生の就職率の目標を定めていないが、県立大学として明確に目標をもって県内就職を促進すべきでは?

A知事: 県内就職は重要であり、キャリア形成などにより就職促進に取り組む。

成果2 → 両大学の卒業生の県内就職率を改善する県の姿勢が確認できました。

6月 ■兼業農業の位置付け

Q酒井: 兼業農家を担い手としてどう位置付けているのか?

A知事: 地域農業の重要な担い手として位置付けている。

成果3 → 県として重要な担い手として位置付けていくことが明確になりました。

■スマート農業

Q酒井: スマート農業は支援策が必要ではないか?

A知事: 県単事業をはじめ様々な支援策を行う。

成果4 → 支援策によりスマート農業を進める県の方針が明確になりました。

■若い女性の定着

Q酒井: 若い女性の県外流出を止めるために、男女を取り巻く固定的な意識や慣習などを変えていく必要があるが、生涯学習や公民館活動が有効ではないか?

A知事: 若い女性に選ばれる県づくりに取り組む。全国一を誇る長野県の公民館活動を通じた学習を進める。

成果5 → 若い女性が定着するために、取り組む県の姿勢が明確になりました。

各種同盟会を通じた活動による成果

～ 道路・河川の整備促進を図りました～

① 国道: 153号伊駒アルプスロード、153号伊那バイパス、152号、361号

② 県道: 伊那インター線・環状北線、伊那生田飯田線、伊那辰野停車場線、車屋大久保線、沢渡高遠線、西伊那線、芝平高遠線、駒ヶ根長谷線、与地辰野線

③ 河川: 大沢川、小黒川、棚沢川、小沢川、大清水川

お断り 公職選挙法の規定により、ハガキによる年頭の挨拶は禁止されております。何卒ご了承くださいませよう、お願いいたします。

9月 ■大学入学共通テスト

Q酒井: テストにおける英語民間試験の導入は、受験生間の公平性が保てないなど課題があるため、導入すべきではないと考えるが?

A教育長: 酒井議員の考えと同様であり、必要があれば各大学が個別に英語試験を実施すべき。

成果6 → 県教委としては英語民間試験を導入しない方針が確認できました。

■県産材を活用した住宅建設

Q酒井: 県産材の活用のために、伊那市の(株)フォレストコーポレーションのように県産材に特化した住宅建設を促進すべきでは?

A知事: 県産材住宅づくりのための連携組織があるが、工務店などにも参画を働きかけて建設を促進する。

成果7 → 県産材に特化した住宅建設を促進する県の方針が確認できました。

■木材乾燥施設の充実

Q酒井: 県産材を活用するために、現在不足している施設の拠点整備を図るべきでは?

A知事: 施設を有する工場と有しない工場の連携強化を図り、事業者への支援を通じて県全体の乾燥能力の向上を図る。

成果8 → 施設の充実を図る県の方針が確認できました。

11月 ■県の実財政改革

Q酒井: 現在策定作業を行っている「行政・財政改革方針」は、国の行財政に関する方向性が不透明な中では、今年度中に策定することは困難であり、先送りすべきでは?

A知事: 総合5か年計画の策定スケジュールに合わせて、1年先送りしたい。

成果9 → 提案に基づき、県の方針が変更になります。

■上水道の広域連携

Q酒井: 上伊那広域圏は広域連携を進めるには環境が整っており、県が推進役となって他の地域に先行して連携を進めるべきでは?

A知事: 市町村の考え方もあるが、連携に向けて意見交換を進めたい。

成果10 → 上伊那圏域の広域連携を進める県の方針が確認できました。

■下水道の広域連携

Q酒井: 下水道施設の維持管理を直営で行っている市町村に対して、県下水道公社へ委託することを要請すべきでは?

A知事: 酒井議員の提案に賛同し、市町村に要請したい。

成果11 → 今後市町村が県下水道公社に施設の維持管理委託を進める県の方針が確認できました。

